

■欧州：排出権先物価格が暴落

2011年11月25日、インターコンチネンタル(ICE)取引所における排出権先物価格(2011年12限月)が前日に引き続き下落し、第2フェーズでは過去最低となる前日比12.5%安の6.9ユーロ/トンをつけた。これで12限月の排出権取引価格は、今年5月につけた高値17.0ユーロ/トンから59%下落したことになる。専門家によると、この排出権価格低迷の原因は、欧州債務危機による需要の低迷と今後のオークションにより排出枠が供給過剰になるとの予測からであるとしている。また、ある金融機関が11月17日に発表した予測によると、2012年の排出権価格は3ユーロ/トンまで落ち込む可能性があるとしている。欧州では再び景気が落ち込むとの見方が優勢の中で、欧州委員会はCCS(二酸化炭素回収貯留)の実証プロジェクトと再生可能エネルギーへの援助を目的とした資金を調達するために、3億トンの排出枠を市場に放出する予定である。